はじめにお読みください

corega Wireless LAN PCCB-11
ドライバーバージョンアップによる変更点について

この度は、「corega Wireless LAN PCCB-11」無線LAN PC カードをお買いあげいただきまして、誠にありがとうございます。
本書は、製品付属の取扱説明書に記載されていない内容や、ご使用の前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。
今回、本製品のドライバーバージョンアップにより、無線 LAN PC カードに関する設定やインストール、アンインストールの手順が一部変更になりました。製品に同梱されております、取扱説明書とともにお読みいただき、本製品を正しくご使用いただきますようお願いいたします。

■ドライバーバージョン

ここで説明している変更点は、ドライバーバージョン「Ver 1.10 pl0」以降で対応しています。現在のドライバーバージョンは、「Configuration Utility」の「バージョン情報」タブで確認することができます。

1　無線 LAN PC カードの設定変更

本製品の設定変更を行う「Configuration Utility」が変更になりました。

■基本設定

無線LAN PC カードの基本設定は、「設定」タブから行います。設定タブで変更になったのは、次の項目です。
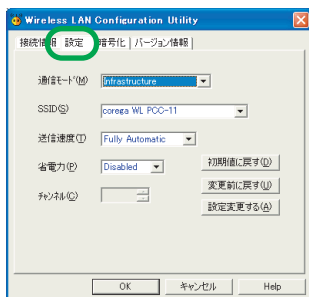
図 1.1「Configuration Utility」の「設定」タブ

- 通信モード
  通信モードでは、無線 LAN のネットワーク構成を設定します。今回、「802.11 Ad Hoc」が追加され、「Infrastructure」、「Ad Hoc」、「802.11 Ad Hoc」の 3 種類の設定が可能になりました。無線LAN 通信を使用する環境や目的に合わせて、通信モードを選択してください。

- 「Infrastructure」モード
  アクセスポイントを使用して、有線ネットワークと無線ネットワークを統合して、一つのネットワークとして構成する場合に選択します。

- 「Ad Hoc」モード
  無線 LAN カードだけでネットワークを構成する場合に選択します。同じ無線チャンネルを設定した無線 LAN カード同士での通信が可能です。

- 「802.11 Ad Hoc」モード
  無線 LAN カードだけでネットワークを構成する場合に選択します。同じ SSID を設定した無線 LAN カード同士での通信が可能です。

Windows XP 上で本製品を使用している場合、通信モードを「Infrastructure」または「Ad Hoc」に変更するには、ドライバーのプロパティで変更してください。
また、ドライバーのプロパティで、通信モード（Network Type）に「Ad Hoc」を設定した場合、「Configuration Utility」の「通信モード」にはブランクで表示されますが、設定には問題ありません。
通信モードを「802.11 Ad Hoc」に変更するには、「Configuration Utility」から設定を変更してください。

- 通信方式
  通信方式の項目は、削除されました。

- 暗号
  暗号の項目は、「暗号化」タブに移動になりました。
  暗号の設定方法については、次の「■「暗号」の設定」を参照してください。

- チャンネル
  「Ad Hoc」または「Infrastructure」モード時に、無線LAN 通信で使用するチャンネルを設定します。
  「Ad Hoc」モードで使用する場合に、チャンネル設定を変更するには、一度、「Configuration Utility」で通信モードを「802.11 Ad Hoc」に変更してからチャンネル設定を変更します。チャンネル設定を変更したら、ドライバーのプロパティで通信モードを「Ad Hoc」に戻してください。

■「暗号」の設定

本製品では、無線ネットワーク上で交換されるデータを保護するために、暗号を使用することができます。暗号を使用して通信を行うためには、暗号を使用するグループのコンピューター全てに、同じ暗号を設定する必要があります。

J613-M7086-04 Rev.A 011116

●キーワード入力による設定

「キー文字列」を入力して暗号を設定する手順について説明します。

(1) 「暗号化」タブをクリックします。「暗号」欄で「64 Bit」または「128 Bit」を選択します。
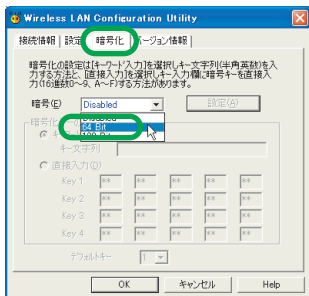
図 1.2　暗号を有効にする

(2) 「64 Bit」または「128 Bit」を選択すると、「WEP キー設定」の項目が入力できるようになります。「キーワード入力」をチェックし、「キー文字列」に、任意の半角英数文字を入力します。入力した文字の大文字と小文字は区別されます。入力できる文字数は、31 文字までです。
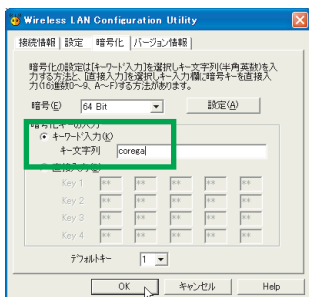
図 1.3　キー文字列を入力

(3) 「設定」ボタンをクリックすると、暗号キーが設定されます。

図 1.4　暗号キー設定

キー文字列を入力して暗号化キーを設定する場合には、「デフォルトキー」の設定は無効です。

(4) これで、1 台のコンピューターの設定は終了です。暗号を使用して通信するには、通信先のコンピューターにも同じ設定をしなければなりません。続いて、他のコンピューターにも、同じように設定を行ってください。
ただし、暗号キーの設定後、「暗号化」タブから別のタブに移動し、また「暗号化」タブに戻っても、入力したキー文字列は表示されません（キー文字列は、「*」で表示されます）。

●暗号キーを直接入力する設定

暗号キーを直接入力して、暗号を設定する手順について説明します。

(1) 「暗号化」タブをクリックします。「暗号」欄で「64 Bit」または「128 Bit」を選択します。
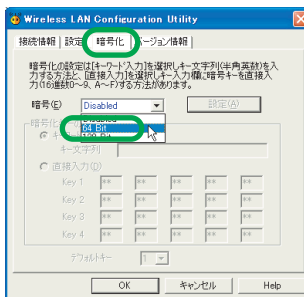
図 1.5　暗号を有効にする

(2)「64 Bit」または「128 Bit」を選択すると、「WEP キー設定」の項目が入力できるようになります。「直接入力」をチェックし、「key1 ～4」に直接、数値（16 進数値 0 ～ 9、A～F）を入力します。

図 1.6　暗号キーを入力

(3) key1 ～4 のうちから、暗号化キーとして使用する key を選び、その番号を「デフォルトキー」欄で指定します。

図 1.7　デフォルトキーを指定

(4)「設定」ボタンをクリックすると、暗号キーが設定されます。
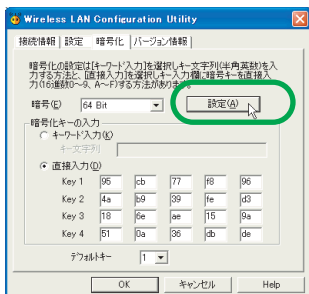
図 1.8　暗号キー設定

(5) これで、1 台のコンピューターの設定は終了です。暗号を使用して通信するには、通信先のコンピューターにも同じ設定をしなければなりません。続いて、他のコンピューターにも、同じように設定を行ってください。

ただし、暗号キーの設定後、「暗号化」タブから別のタブに移動し、また「暗号化」タブに戻っても、入力した暗号キーは表示されません（暗号キーは、「*」で表示されます）。

●暗号を使用しない

暗号を無効にするには、「暗号化」タブの「暗号」欄で、「Disabled」を選択してください。
「Disabled」を選択した場合は、「WEP キー設定」の項目が、変更できないようになります。
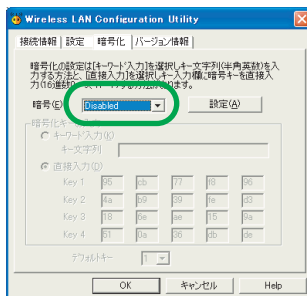
図 1.9　暗号を無効にする

2「Configuration Utility」のインストール手順

Windows NT4.0 または Windows 2000 上で、本製品を使用する場合の、ユーティリティープログラムのインストール手順が変更になりました。
これまで、ユーティリティープログラムのインストール途中で、「Configuration Utility をスタートアップに登録しますか？」という内容のダイアログボックスが表示されていましたが、これが表示されなくなりました。
Windows NT4.0 または Windows 2000 上では、Administrators グループ以外のユーザーでも、「Configuration Utility」の「接続情報」タブと「バージョン情報」タブを表示することができるようになりました。

3 アンインストールの手順

本製品をシステムから削除するには、「Uninstaller」を実行します。「Uninstaller」を実行すると、本製品のドライバーとユーティリティープログラムの両方が削除されます。この手順が次のように簡略化されました。

(1) ネットワークコンピューターのファイルやフォルダを開いている場合は、閉じてください。ネットワークと通信を行っているアプリケーション（データベース、Telnet など）をすべて終了してください。

(2) タスクバーの「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」または「プログラム」→「corega WL PCCB-11」→「Uninstaller」をクリックします。

(3) 「Uninstall Wireless LAN PCCB-11」が現れたら、「はい」ボタンをクリックしてください。

(4) 「コンピュータからプログラムを削除」が現れ、進行状態が表示されます。「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。

(5) これでアンインストールは終了です。

ご注意

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を株式会社コレガが保有しています。株式会社コレガに無断で本書の一部または全部を複製することを禁じます。
- 株式会社コレガは、予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- 株式会社コレガは、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

商標について

coregaは株式会社コレガの登録商標です。
Windows、Windows NTは、米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

2001年 11月　　Rev.A　初版